

法政大学大原社会問題研究所

「子どもの労働と貧困」研究プロジェクト／女性労働研究史研究会
合同公開研究会

女性の貧困をいかに捉えるか ～「世帯の中に隠れた貧困」を 可視化するために～

2019年3月22日（金）13:00～17:00

法政大学市ヶ谷キャンパス

ボアソナード・タワー25階 会議室B

貧困は世帯単位で測定するのが一般的な方法である。そのとき、世帯の中で資源が平等に分配されることが前提になっている。しかし実際には、世帯収入で見ると貧困ではなくても、世帯の中の特定の個人が貧困に陥っているということがある。女性はよりこうした状態に陥りやすい。本研究会では、「世帯の中に隠れた女性の貧困」を可視化させるために、このような形の貧困が日本および英語圏のこれまでの研究の中でどのように論じられてきたのか、先行研究を整理し報告する。

* 本研究会は日本学術振興会科学研究補助金（基盤研究（C）課題番号16K02030）による研究の一環として行うものである。

【報告者】 丸山里美（立命館大学）
吉中季子（神奈川県立保健福祉大学）
鳥山まどか（北海道大学）
田中智子（佛教大学）

【コメンテーター】 岩田正美（日本女子大学名誉教授）
藤原千沙（法政大学大原社会問題研究所）

お問い合わせ：鳥山まどか（tmadoka@edu.hokudai.ac.jp）

藤原千沙（chisa@hosei.ac.jp）

事前申込不要